

誉田八幡宮で重要文化財訓練を実施！

1月25日(水)、「第58回文化財防火デー」の一環として、重要文化財を数多く所蔵される誉田八幡宮にて、羽曳野市消防団、誉田八幡宮の関係者の方々、誉田保育園、柏羽藤消防組合との合同で参加人員約



150人、車両6台で消防訓練を実施しました。訓練は「誉田八幡宮」拝殿から出火し、絵馬堂に延焼の恐れが出てきたとの想定で実施しました。

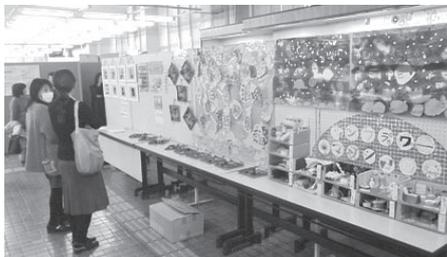
行政対象暴力等防止研修会

1月25日(水)、市管理職と小中学校の校長・教頭の約90人を対象に、暴力団などから行政対象暴力があっても適切に対応できる能力を養おうと研修会を実施しました。大阪府警本部から「暴力団排除条例」について受講後、暴力団などから



の不当な要求や恫喝に対する窓口での対応方法の演習に移りました。演習では、羽曳野警察署員から「毅然とした態度で冷静に対応するように」と助言をいただきました。

第17回「なかよし作品展」



1月11日～1月13日まで、市役所1階コミュニティスクエアにて市立小中学校の支援学級児童生徒の作品展が開催されました。出展されたどの作品も力作ぞろいで驚きました。「じっくり見ていると勇気がわいてきます。」など参観いただいた市民の方から心温まる感想をいただきました。

市民セミナーの開催

1月20日(金)、市役所にて市民セミナーを開催しました。「ヒューマン・ライツ コンサート～音楽に込められた人権メッセージ～」というテーマで、イタリア生活文化交流協会よりアンサンブル・サビーナの皆さまを講師にお迎えしました。



クラシック音楽に込められた「幸せに生きたい」「自由に生きたい」という「人権メッセージ」をみなさんと一緒に考えました。

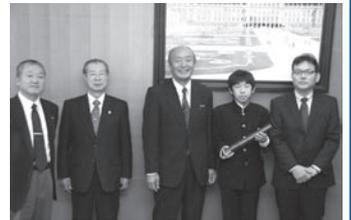
フットサル大会「はびきのCUP」

第11回小学生フットサル大会「はびきのCUP」が、1月14日・15日はびきのコロセアムで開催されました。大会には、市内8チームを含む17チームが参加し、スピードとテクニック、そして豪快なシュートと大人顔負けのプレーが飛び出しました。決勝トーナメントを制したのは羽曳野市SSCチームでした。



第59回中学生人権作文コンテスト

大阪法務局および大阪府人権擁護委員連合会が実施した「第59回中学生人権作文コンテスト」において、誉田中学校2年生の上本 敦司^{かみもと あつし}さんが、応募総数152校・26,265編の中から優秀賞を受賞し、昨年12月17日に国民會館大ホールにおいて表彰式が行われました。また、峰塚中学校には大阪法務局富田林支局より感謝状が贈呈されました。



★右から2番目が上本さん



★峰塚中学校へ感謝状の贈呈

埴生第一分団消防ポンプ自動車入魂式

羽曳野市消防団埴生第一分団の消防ポンプ自動車の入魂式が昨年12月18日(日)に行われ、北川市長より山内分団長へ消防車のゴールドキーが手渡されました。最後に、山内分団長より「災害への備えや体制を整え、減災に努めたい」と今後の活躍を約束され式典が終了しました。



大阪府こども会大会・表彰式

2月5日(日)、大阪府こども会大会・表彰式がダウンセンターにて開催され、羽曳野市こども会からも団体と個人でそれぞれ表彰を受けました。これからのより一層のご活躍に期待いたします。



大阪府優良こども会表彰：羽曳が丘西5丁目こども会
財団法人大阪府こども会育成連合会表彰：間部 則子(市こ連役員)

クロスカントリー全国大会へ

羽曳が丘小学校7人と高鷲南小学校1人の8人の児童で結成されたクロスカントリーリレーチーム(羽曳野RC)が、昨年11月27日(日)、大阪狭山市で開催された大阪予選で3位の好成績を収め、3月17、18日に万博記念公園で行われる全国大会へ出場することが決定しました。(1/20教育委員会で)



陵南の森に『プロ棋士、来る！』

2月9日(木)、陵南の森将棋クラブ高田勲 代表に小林健二九段、村田智穂 女流二段、室谷由紀 女流初段の三氏を招聘し将棋教室を開催しました。会員の約半数の50人が、対局・指導を体験しアツという間の150分で、その強さと回転の速さに驚くばかりでした。



三市災害相互応援協定調印式 (和歌山県田辺市・奈良県橿原市・大阪府羽曳野市)

和歌山県田辺市 奈良県橿原市 大阪府羽曳野市

三市災害相互応援協定調印式



・左から森下市長(橿原)・真砂市長(田辺)・北川市長(羽曳野)

2月9日(木)、大阪市内にて協定を更新する調印式を実施しました。東海・東南海・南海地震などによる大規模災害に備え、平成8年11月より、本市と田辺市および橿原市は、大規模災害時の災害相互応援協定を結んでいます。また、前協定とは別に平成7年5月より、本市と田辺市の間では住民基本台帳や税の収納、国保や介護のデータなどの相互保管(右下:画像参照)に関する協定も締結しています。今回、データを相互保管する協定を改め、橿原市にも参入いただき、三市間にて住民の財産を守るためにデータの相互保管を続けてまいります。相互保管の相手先については「あまり近い自治体間では意味

昨年相互応援協定に基づき、台風12号による土砂災害などで被害を受けた、田辺市へ職員を派遣(橿原市と調整し派遣)。派遣した建築の技術職員の業務内容は農業用地など復興予算の査定業務です。

がない」という考えから決定しました。また、昨年の台風により大きな被害を受けた田辺市の真砂市長は「安心安全は自治体の共通テーマ。災害に強いまちを」と話し「日本海へカニツアーもいいが、海産物なら田辺へぜひお越しください」と復興に向けたPRが印象的でした。



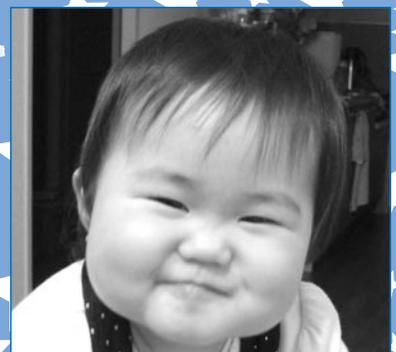
▲LICはびきりで保管されている田辺市のバックアップデータ



つじ あやと 西浦
辻 綺人ちゃん
平成20年9月22日生まれ
☆大好きな孫たち☆
その笑顔で優しい子になあれ!
祖母の久枝さん撮影



きした こはる 菅田
岸田 恋春ちゃん
平成22年3月27日生まれ
☆大好きな孫たち☆
その笑顔で優しい子になあれ!
祖母の久枝さん撮影



もり ふうか 南恵我之荘
森 風花ちゃん
平成23年1月22日生まれ
いつも笑顔で優しい子になってね♪
父ちゃん母ちゃんところに産まれてくれてありがとう!
母親の祥子さん撮影

こんにちはあかちゃん